

Japan Clinical Oncology Group(日本臨床腫瘍研究グループ)  
放射線治療グループ

国立がん研究センター研究開発費 26-A-4

「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」班

文部科学省学術研究助成基金助成金、若手研究(B)

「頭頸部扁平上皮がんにおけるがん幹細胞関連分子と放射線抵抗性に関する研究」

文部科学省学術研究助成基金助成金、基盤(C)

「頭頸部がんにおける癌・幹細胞関連遺伝子群を標的とした治療法の開発」

# JCOG0701A2

JCOG0701「T1-2N0M0 声門癌に対する放射線治療の加速照射法と標準分割照射法のランダム化比較試験」の附随研究

T1-2N0M0 声門癌における

EpCAM と放射線治療の予後に関する研究計画書 ver1.0

Prognostic value of EpCAM in T1-2N0M0 glottic cancer

略称: Glottis-EpCAM-RT

グループ代表者: 西村 恭昌

近畿大学医学部放射線治療科

研究代表者: 加賀美 芳和

昭和大学医学部 放射線治療科

〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

研究事務局: 村上 直也

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

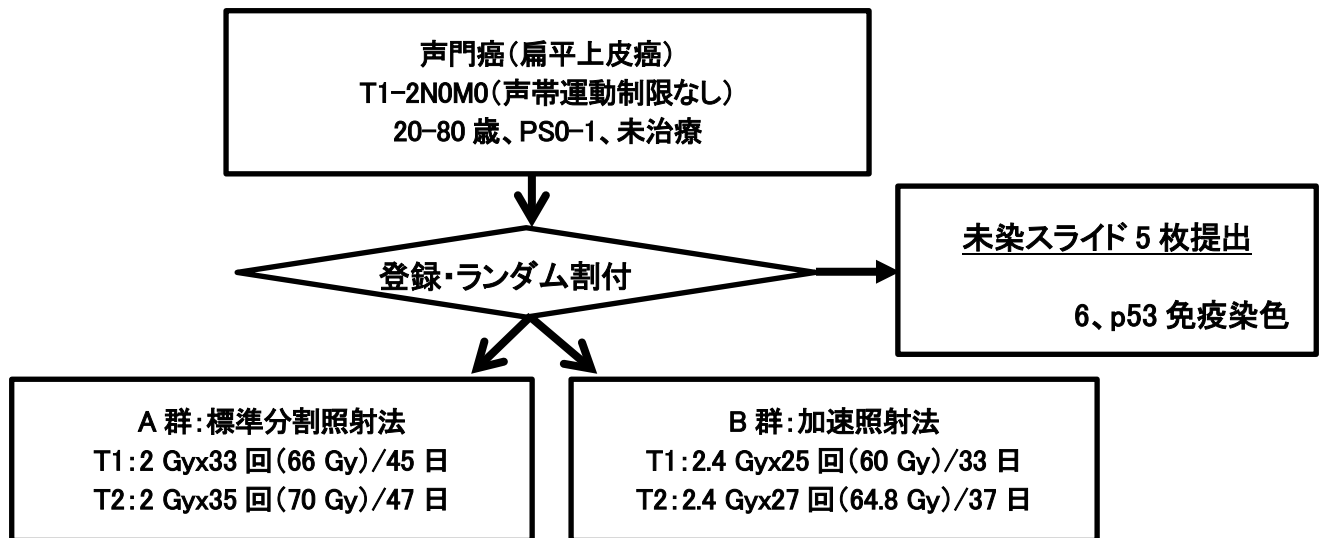
病理研究事務局: 森 泰昌

国立がん研究センター中央病院 病理診断科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

## 0. 概要

### 0.1. シェーマ



### 0.2. 目的

JCOG0701「T1-2N0M0 声門癌に対する放射線治療の加速照射法と標準分割照射法のランダム化比較試験」に登録された患者を対象に、EpCAM、p16、p53 の発現が放射線治療後の予後因子となるかを探索的に調べる。

Primary endpoint : EpCAM、p16、p53 発現陽性・陰性患者の3年無増悪生存割合

Secondary endpoints : EpCAM、p16、p53 発現陽性・陰性患者の全生存期間、喉頭無増悪生存期間、無病生存期間、音声機能温存生存期間、局所完全奏効割合

### 0.3. 対象

JCOG0701 に登録された患者のうち、試料の外部提供に関する IRB (倫理審査委員会: Institutional Review Board) 承認に基づく研究機関の長の研究実施許可が得られ、未染プレパラートが得られる患者を対象とする。

### 0.4. 方法

対象患者の未染標本プレパラートを JCOG0701 参加施設より施設コーディネーターを通じて国立がん研究センター中央病院へ収集し、EpCAM、p53、p16 の免疫染色を実施する。各因子の発現の程度について病理研究事務局が中央判定を行い、予後との関連を探索的に検討する。

### 0.5. 研究期間

研究期間: JCOG プロトコル審査委員会承認後、各施設の IRB 承認が得られてから研究を開始し、2 年間の予定。

### 0.6. 問い合わせ先

研究事務局: 村上 直也

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科  
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1